

保証書付 取扱説明書

オーム電子体温計MT418-Y

型番 MT418-Y / 品番 08-1437

この度は当体温計をお買い上げいただきありがとうございます。
ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。
この取扱説明書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

付属品

- 電池(動作確認用):本体内置 ■収納ケース
- 添付文書 ■保証書付取扱説明書(本紙)




主な特長

- 約15秒ですばやく予測検温
当社独自の予測機能により、検温開始から温度の上昇を分析・演算し、実測検温の体温を約15秒で予測します。
- 検温終了時、予測・実測検温ともに電子音(ピー音)でお知らせします。
- 測定結果が37.8℃以上の場合、予測・実測検温ともにブザーのリズムを変えてお知らせします。
- 自動的に最後の測定温度を保存します。(前回測定値メモリー機能)
- 電源を切り忘れても安心のオートパワーオフ式です。
- 製品本体は抗菌剤入りの合成樹脂を使用しています。

使用上のご注意






絵表示について

この取扱説明書及び製品への表示では、製品を正しくお使いいただき、使用者への危害や財産への損害を未然に防止するために、様々な絵表示をしております。その表示と内容は次のようになっております。内容をよくご確認の上、本文をお読みください。





-  **警告** 人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
-  **注意** 人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。
-  **禁止** 禁止(してはいけないこと)を示しています。

安全にご利用いただくために、下記の注意事項を必ずお守りください。



警告

-  **お子様が電池ケースフタをなめたり、いじったりすると危険です。保護者の監視下でご使用ください。お子様の手の届かないところに保管してください。**
※電池誤動作事故や感電のおそれがあります。
-  **お子様だけで扱わずにください。**
※測温部で目を突くなど思わぬ事故のおそれがあります。
-  **本体を強くかじらないでください。**
※破片等の誤飲事故や故障の原因になります。
-  **分解、改造、修理は絶対にしないでください。**
※思わぬケガをするおそれがあり、故障の原因になります。
-  **測定中に体温計の近く(30cm以内)で携帯電話やスマートフォンを使わないでください。**
※正確な測定ができません。

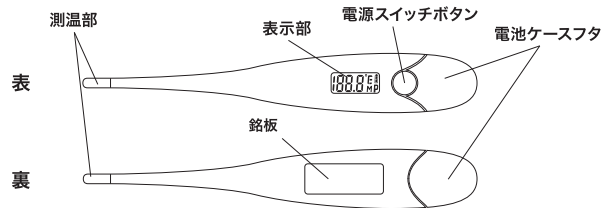
注意

-  **当体温計の電池ケースフタ部は防水仕様ではありません。電源スイッチボタンや電池ケースフタからの浸水には十分ご注意ください。(お手入れ時は特にご注意ください。)**
※故障の原因になります。
-  **当体温計は人の体温測定以外には使用しないでください。**
※お風呂につけたりすると故障の原因になります。
-  **本体を曲げたり、落としたりしないようご注意ください。**
※故障の原因になります。
-  **火気や熱気のあるそばでは使用しないでください。**
※変形や故障の原因になります。

正確な測定のために

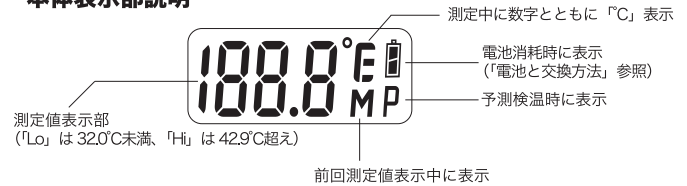
-  **飲食、運動、入浴後の30分間は測定をお控えください。**
※正確な測定ができません。
-  **周囲温度が40℃を超える場所では使用しないでください。**
※正確な測定ができません。
- 測定部位について**
腋窩(腋の下のかぼみの中心部)での測定は、医学的には正確な測定が可能とされていますが、外気温や密着の度合などによる影響を受けやすいという欠点があります。正確な測定が必要な場合は口腔(舌下)による測定をお勧めします。口腔と腋窩では測定温度の差が0.2~0.5℃あるといわれています。体温には個人差がありますので、平常時の口腔温と腋窩温を知っておくと便利です。
また、条件を一定にするために、いつも同じ部位での測定をお勧めします。同じ部位でも、できるだけ温度の高いところでの測定が理想的です。
- 最高温度表示の保持**
電源が入っているときに表示されている数字または「Lo」または「Hi」は、電源を入れてから現在までの最高測定温度を示しています。(測定値は下がることがないよう常に保持されます)「Lo」は32.0℃未満、「Hi」は42.9℃超えを表します。

各部の名称



体温のはかり方(検温)

本体表示部説明



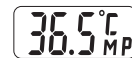
(表示部は参考例です。)



本体の電源スイッチボタンを押して電源を入れます。



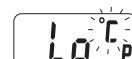
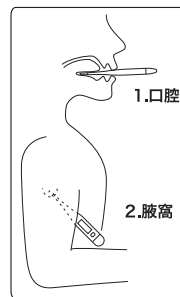
「ピッ」という音とともに、本体表示部に表示文字すべてが約2秒間表示されます。




次に前回の測定値が約2秒間表示されます。右下に「M」が表示され、前回の測定値メモリーであることを表します。「P」も表示される場合は、前回は予測検温であることを表します。



前回の測定値が消え、37.0℃が表示された後、「P」(予測検温であることを表します)が点灯、現在の温度(Loは32.0℃未満、Hiは42.9℃超えを表します)が表示され、「C」が点滅し始めます。

測定可能な状態になりました。32秒以内に体温計を測定部位に添えてください。
※この時、「C」とともに「M」マークが同時に点滅した場合は電池が消耗しています。「電池交換方法」をご参照の上、電池交換をしてから使用してください。

測定方法(口腔か腋窩か)を決めて、本体を測定部位にそえます。「正確な測定のために」をご参照ください。

1.口腔(舌下)
体温計の測温部を舌の裏側のつけ根に密着させます。正確に測定するために、口をしっかりと閉じて、測定中は体温計を動かさないでください。 乳幼児には危険ですのでこの方法は絶対におやめください。2.腋窩(腋の下のかぼみの中心部)
体温計を斜め下から差し入れるようにして挟み、測温部を腋の下に密着させます。この時、測温部が腋の下の中央に来るように位置を調節してください。

●予測検温の場合

検温開始約15秒後に予測検温終了告知音が鳴り、「C」が点滅から点灯にかわり、予測検温が終了します。
※予測検温結果は約1分間表示します。
※検温終了告知音が1秒間1回のペースで「ピー、ピー」と鳴る場合、37.8℃未満であることをお知らせします。1秒間4回のペースで「ビビビッ、ビビビッ、…」と鳴る場合、37.8℃以上であることをお知らせします。
※正しい方法で測定を行わなかった場合や血行動態等によっては、予測精度が保証されない可能性があります。
※測定値は次回電源を入れるまでメモリーとして保存されます。

●実測検温の場合

予測検温終了告知音が鳴っても、体温計を取り出さずに検温を続けます。予測検温終了約1分後、「P」が点灯、「C」が点滅し始めます。実測検温になります。
約5分40秒後に、実測検温終了告知音が鳴り、実測検温が終了します。
※検温終了告知音が1秒間1回のペースで「ピー、ピー」と鳴る場合、37.8℃未満であることをお知らせします。1秒間4回のペースで「ビビビッ、ビビビッ、…」と鳴る場合、37.8℃以上であることをお知らせします。
※測定値は次回電源を入れるまでメモリーとして保存されます。
検温結果を確認し、測定が終了しましたら、電源スイッチボタンを押して電源を切ります。


予測検温結果表示
「P」表示: 予測値

実測検温結果表示


次の状態の場合、オートパワーオフ機能によって自動的に電源が切れます。

- 電源を入れた後、検温していない状態で、約3分後
- 実測検温終了後、何も操作をしない状態で、約8分後

こんな時は

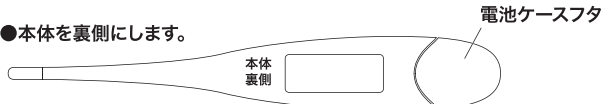

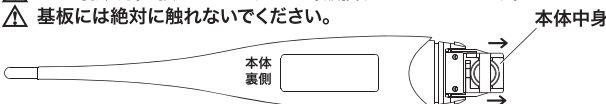
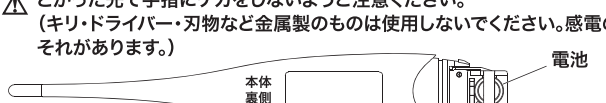
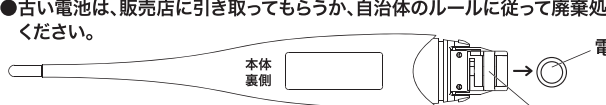
電源が入らない	電池が消耗したか、古い電池と交換してしまったか、電池の⊕⊖の向きを間違えてセットしてしまった可能性があります。「電池と交換方法」をご参照ください。
表示部の右上に「  」が表示される	電池が消耗しています。正確な測定ができません。電池を交換してください。「電池と交換方法」をご参照ください。
測定温度が異常に低い	測温部と測定部位が十分に密着していなかった可能性があります。「正確な測定のために」をご参照の上、再度測定してください。
測定温度が異常に高い	測温部が何らかの理由で熱くなっていた可能性があります。測温部を冷やしてから再度測定してください。その際、電源を入れて測定可能な状態になる時に「Lo」が表示されることを確認してから測定を開始してください。
測定温度が一定しない	飲食・運動・入浴直後の測定か、測定部位が一定していないか、測定方法に問題がある可能性があります。「正確な測定のために」をご参照ください。

電池と交換方法

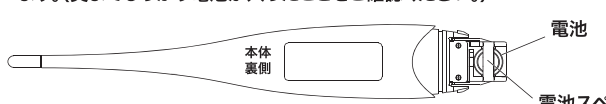
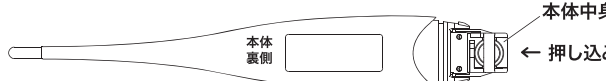
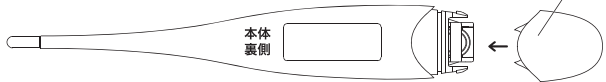

- 本品にはあらかじめ電池が内蔵されています。
- ご購入時に内蔵されている電池は動作確認用のため、寿命が短い場合がございます。
- 新品の電池の寿命は、一日10分使用した場合、約2年です。
- 電池の寿命が近づき電圧が低下すると、測定開始時に表示部右上に「」マークが点滅表示され、測定できなくなります。
- 寿命と判断された電池はすみやかに新しい電池と交換してください。そのまま放置することはお避けください。液漏れにより故障の原因になります。
- 使用電池はアルカリボタン電池LR41×1個です。
- 古い電池は、販売店に引き取ってもらうか、自治体のルールに従って廃棄処分してください。

電池交換の方法

1. 電池のはずし方

- 本体を裏側にします。
- 
- 電池ケースフタを引き抜いてはずします。
- 
- 本体中身を10mm程引き出します。
- ▲この時強く引っ張らないでください。破損することがあります。
▲基板には絶対に触れないでください。
- 
- 楊枝などの先のとがった硬いもので電池をこじってはずします。
- ▲とがった先で手指にケガをしないようご注意ください。
(キリ・ドライバー・刃物など金属製のものは使用しないでください。感電のおそれがあります。)
- 
- 古い電池は、販売店に引き取ってもらうか、自治体のルールに従って廃棄処分してください。
- 

2. 電池の入れ方

- 本体を裏側にし、電池をマイナス面(⊖)が見える向きで電池スペースに押し込みます。(奥までしっかり電池が入ったことをご確認ください。)
- 
- 本体中身を突き当たるまで押し込んでください。(10mm程です)
- 
- 電池ケースフタを差し込みます。
- 
- 完了。
- 

お手入れと保管

- ご使用後は、ガーゼ等に消毒用アルコールまたはぬるま湯を浸み込ませ、かたく絞ったもので、測温部を軽く拭いてください。
(電池ケースフタ部と本体の間に浸み込ませないようご注意ください。)
- シンナーやベンジンは使用しないでください。故障の原因になります。
- 保管する際は、本体を乾燥した状態にして、高温の場所、直射日光の当たる場所、湿気が多い場所、ホコリが多い場所、腐食性ガスの発生する場所を避けてください。
- 長期間保管する場合は、電池を本体から抜いてください。

仕様

一般的名称	電子体温計
販売名	オーム電子体温計MT418-Y
型番/品番	MT418-Y / 08-1437
医療機器認証番号	306AKBZX00046000
温度測定範囲	32.0℃~42.9℃ 32.0℃未満で「Lo」表示、42.9℃を超えて「Hi」表示
測定精度	±0.1℃ (室温18℃~28℃にて恒温水槽で実測定した場合)
温度表示	デジタル液晶表示3桁+℃表示、0.1℃単位
測定方式	予測・実測式
測定値メモリー	最後の測定値を記憶保存しています
測温部	サーミスタ
電撃保護	内部電源機器B形
使用電池	アルカリボタン電池LR41×1個
使用環境条件	10℃~40℃/30~85%RH
保管環境条件	-10℃~60℃/30~95%RH
外形寸法	(約)長さ130.5×幅19.7×厚さ10.9mm
本体質量	約8.6g (電池含む)
電池使用寿命	約2年 (一日10分使用の場合)

※商品改良のため、仕様及び外観は予告なしに変更することがあります。

製造販売元・お客様相談窓口

OHM 株式会社 オーム電機
〒342-8502 埼玉県吉川市旭3-8
<https://www.ohm-electric.co.jp>

製品に関するお問い合わせは **お客様相談室**へ
●通話料無料 ●携帯・IP・公共電話からは
0120-963-006 048-992-2735
電話受付 平日9:00~17:00
※土曜・日曜・祝日及び年末年始は除きます

保証書

持込修理 無料修理規定

- 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で、保証期間内に故障した場合のみ無料修理いたします。
- 保証期間内でも次の場合には有料修理となります。
(イ) 使用上の誤り、または、自己修理、分解、調整、改造等による故障及び損傷
(ロ) お買い上げ後の輸送、移動、落下等による故障及び損傷
(ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、異常電圧、水掛り等による故障及び損傷
(ニ) 消耗または摩耗した部品、付属品の交換
(ホ) 本書のご提示がない場合
(ヘ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは文字を書き換えられた場合(但し、販売店シールや領収書でも未記入項目の代用となります。)
(ト) 本品本来の用途以外に使用された場合の故障及び損傷
(チ) 一般家庭用以外(例:業務用、または業務用に準ずる使用方法)で使用された場合の故障及び損傷
- ご贈答、ご転居等で本保証書に記入のお買い上げ販売店に修理をご依頼になれない場合は、弊社修理ご相談センターにお問い合わせください。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。 This warranty is valid only in Japan.
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

商品名	オーム電子体温計 MT418-Y	★お買い上げ日	年 月 日
型番	MT418-Y	品番	08-1437
		保証期間:	本体1年間 (お買い上げの日から)
お客様	ふりがな		
	★お名前		
販売店	★ご注文所(〒 -)		
	★住所 店名 電話		

(注)★印欄に記入のない場合は無効となりますので、必ずご記入ください。

※この保証書は、本書の明示した期間、条件のもとにおいて無料修理を約束するものです。
※この保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
※保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または弊社修理ご相談センターにお問い合わせください。
※お客様にご記入いただいた保証書の内容は、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がありますので、ご了承ください。

製造販売元

OHM 株式会社 オーム電機
〒342-8502 埼玉県吉川市旭3-8
<https://www.ohm-electric.co.jp>

製品に関するお問い合わせは **お客様相談室**へ
●通話料無料 ●携帯・IP・公共電話からは
0120-963-006 048-992-2735
修理に関するご相談は **修理ご相談センター**へ
電話受付 **048-992-3970** 平日9:00~17:00
※土曜・日曜・祝日及び年末年始は除きます

機械器具 16 体温計
管理医療機器 電子体温計（14032010）
オーム電子体温計 MT418-Y

【警告】

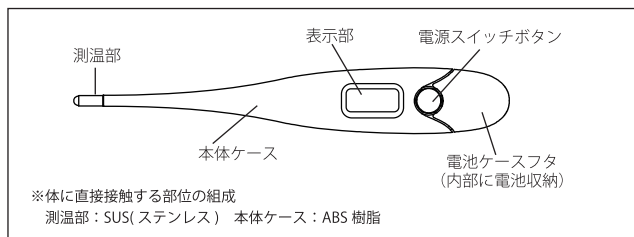
- お子様だけで扱わないでください。
〔電池誤飲事故や測温部で目を突くなど思わぬ事故のおそれがあります。〕
- 本体を強くかじらないでください。
〔本製品の先端部をかみ切つて飲み込んだり、けがをする可能性があります。〕
- 本製品は電磁両立性（EMC）に関して、特別注意が必要であり、EMC 技術資料に記載された EMC 情報に基づいて使用しなければなりません。

【禁忌・禁止】

- 検温結果の自己診断、治療は危険ですので医師の指導に従ってください。
- 人の体温測定以外に使用しないでください。
- 分解、改造、修理は絶対にしないでください。
- 火気や熱気のあるそばでは使用しないでください。
- 乳幼児の手の届かないところに保管してください。

【形状・構造及び原理等】

1. 主要部の形状と名称



2. 本体の寸法及び質量

外形寸法：19.7(幅) X 130.5(長さ) X 10.9(厚さ)mm
質量：約 8.6g (電池含む)

3. 電気的定格

電源：DC1.5V (アルカリボタン電池 LR41 X 1 個)
電撃保護：内部電源機器 B 形装着部

4. 原理

本製品は測温部内にあるサーミスタが温度により電気的抵抗値が変化する特性を応用して温度を検出し、測定開始から約 15 秒後に予測値を、それ以降は、実測値の最高温度を 0.1℃ 単位でデジタル表示する電子体温計である。
測定中は、測定開始から約 15 秒後に予測検温が終了したことを知らせるブザーが鳴る。測定をそのまま続けると、予測検温開始から約 5 分 40 秒後に実測検温終了のブザーが鳴る。

【使用目的又は効果】

測温部を部位に接触させて、腋窩、口腔（舌下）の体温を測定し、最高温度を保持しデジタル表示すること。

【使用方法等】

- 電源スイッチボタンを押します。
- 電源オン、「ピッ」音が 1 回鳴り、全セグメント表示に続いて前回の測定温度が表示されます。
- 「37.0℃」が約 1 秒間表示された後、「P」（予測式であることを表示する）が点灯、「Lo」が表示され、「℃」が点滅しはじめます。測定可能になります。
- 体温計の測温部を腋窩又は舌下に密着させ安静にします。検温開始します。
- 検温開始から約 15 秒後に「℃」が点滅から点灯へ変わり、検温終了告知音が鳴り、予測結果が表示されます。
- 予測検温のみの場合、電源スイッチを押すと、「ピッ」音が 1 回鳴り、電源が切れます。
- 実測検温する場合は予測検温の後、体温計を取り出さずに検温を続けます。検温開始から約 1 分 20 秒後に、「P」が点灯、「℃」が点滅し始めます。実測検温に切り替わります。
- 検温開始から約 5 分 40 秒後に「℃」が点滅から点灯へ変わり、検温終了告知音が鳴り、実測結果が表示されます。
- 電源スイッチを押すと、「ピッ」音が 1 回鳴り、電源が切れます。
※次の状態の場合、オートパワーオフ機能によって自動的に電源が切れます。
 - 電源を入れた後、検温していない状態で、約 3 分後
 - 実測検温終了後、何も操作をしない状態で、約 8 分後

【使用上の注意】

- 小さなお子様の手の届かないところに保管してください。また、お子様にご使用の際は先端の測温部で目を突いたり電池を誤飲しないよう保護者の監視下でご使用ください。
- 運動・食事・入浴の後は、充分な時間をおいてから体温を測定してください。
- 舌下温を測定するときは、指定する場所に挿入し測定中は動かさないでください。
また、本体を強くかまないでください。
- 人の体温以外の測定に使用しないでください。
- 携帯電話および移動無線周波（RF）通信機器により本製品は影響を受けることがあるので、30cm 以上離して使用してください。
- 本製品は、他の機器に密着させたり、重ねた状態で使用しないでください。

【保管方法及び有効期間等】


1. 保管方法

- 高温や直射日光の当たる場所、湿気の多い場所や水のかかる場所、ほこりの多い場所、腐食性のガスの発生する場所に保管しないでください。
- 長期間ご使用にならない場合は、電池を取り出して保管してください。
- 保管環境条件：周囲温度 -10 ~ 60℃ / 湿度 30 ~ 95%RH

2. 耐用期間

標準的な耐用期間の目安：5 年
〔自己認証（当社データ）による〕

【取扱上の注意】

- 分解・改造・修理は絶対に行わないでください。
- 電池ケース部分は防水性がありません。電池ケース部に水等をかけたり、本体を水等につけたりしないでください。
- 熱湯消毒はしないでください。
- 超音波洗浄はしないでください。
- 極端に曲げたり、落としたり、強い衝撃を与えないでください。
- 体温を測定するとき周囲温度が体温より高いような場合は、測温部に水をかけ、先端を冷やしてから測定し、終了のお知らせ音が鳴ったらすぐに表示値を読み取ってください。
- 電池が消耗した場合、表示部に「」マークが点滅表示されます。
このような場合は、電池を交換してください。

【保守・点検に係る事項】

- 測温部（先端）を消毒する場合は、消毒用アルコールを含ませたガーゼ等で軽く拭いてください。
- 長期間使用しなかったときは、使用前に清潔な状態にし、点検（電源が入る等）をしてから使用してください。
- 汚れがひどいときは、水または中性洗剤をしみこませた布をかたく絞って拭き取った後、やわらかい布でから拭きしてください。
- 故障した場合は勝手に修理、分解せず、お客様相談室または修理ご相談センターにご連絡ください。

【製造販売業者及び製造業者の氏名または名称等】

製造販売業者：株式会社オーム電機

外国製造業者：VEGA TECHNOLOGIES INC.

中華人民共和国

お問い合わせ先：株式会社オーム電機 お客様相談室

〒342-8502 埼玉県吉川市旭 3-8

電話 048-992-2735

平日 9:00 ~ 17:00

※土曜・日曜・祝日及び年末年始は除きます

取扱説明書を必ずご参照ください。

EMC 技術資料

オーム電子体温計MT418-Yは、医用電気機器の安全使用のために要求されている EMC（電磁両立性）規格、IEC 60601-1-2：2014 に適合している装置です。EMC規格は、医用電気機器を安全に使用するため、機器から発生するノイズが他の機器に影響を及ぼしたり、他の機器（携帯電話等）が発する電磁波から受ける影響を、一定のレベル以下に抑えるよう規定した規格です。IEC 60601-1-2：2014（5.2.1.1項）において、機器が安全に機能するためのEMC環境に関する詳細な情報を使用者に提供することが求められているため、技術的な説明を以下に記載します。（詳細は、IEC 60601-1-2：2014 をご参照ください。）

■ EMC（電磁両立性）とは

EMC（電磁両立性）とは、次の二つの事項を満たす能力のことです。

- ・周囲の他の電子機器に、許容できない障害を与えるようなノイズを出さない。（エミッション）
- ・周囲の他の電子機器から出されるノイズ等、使用される場所の電磁環境に耐え、機器の機能を正常に発揮できる。（イミュニティ）

■ EMC（電磁両立性）にかかわる技術的な説明

医用電気機器は、EMC に関して特別な注意を必要とし、次に記載する EMC の情報に従って使用する必要があります。

- 警告
- ・本機器は電磁両立性（EMC）に関して、特別な注意が必要であり、EMC 技術資料に記載された EMC 情報に基づいて使用しなければなりません。
 - ・携帯及び移動無線周波（RF）通信機器により本機器は影響を受けることがあるので、30cm以上離して使用することが望ましい。
 - ・本機器は、他の機器に密着させたり、重ねた状態で使用しないでください。

表1 エミッション適用規格および適合性

エミッション試験項目	適用規格	適合性
放射 RF エミッション	CISPR 11	グループ 1、クラス B

表2 イミュニティ試験レベル

イミュニティ試験項目	適用規格	イミュニティ試験レベル
静電気放電	IEC 61000-4-2	± 8 kV 接触 ± 2 kV、± 4 kV、± 8 kV、± 15 kV 気中
放射 RF 電磁界	IEC 61000-4-3	10 V/m 80 MHz ~ 2.7 GHz 1 kHz で 80 % AM
RF ワイヤレス通信機器からの近接電磁界	IEC 61000-4-3	表 3 参照
定格電力周波数磁界	IEC 61000-4-8	30 A/m 50 Hz および 60 Hz

表3 RF 無線通信機器に対する外装ポートイミュニティ試験仕様

試験周波数 (MHz)	帯域 (MHz)	サービス	変調	最大電力 (W)	距離 (m)	イミュニティ試験レベル (V/m)
385	380 ~ 390	TETRA 400	パルス変調 18 Hz	1.8	0.3	27
450	430 ~ 470	GMRS 460、 FRS 460	FM ± 5 kHz 偏差 1 kHz 正弦	2	0.3	28
710	704 ~ 787	LTE 帯域 13、17	パルス変調 217 Hz	0.2	0.3	9
745						
780						
810	800 ~ 960	GSM 800/900、TETRA 800、 iDEN 820、CDMA 850、 LTE 帯域 5	パルス変調 18 Hz	2	0.3	28
870						
930						
1720	1700 ~ 1990	GSM 1800 ; CDMA 1900 ; GSM 1900 ; DECT ; LTE 帯域 1、3、4、25 ; UMTS	パルス変調 217 Hz	2	0.3	28
1845						
1970						
2450	2400 ~ 2570	Bluetooth、WLAN、 802.11 b/g/n、RFID 2450、 LTE 帯域 7	パルス変調 217 Hz	2	0.3	28
5240	5100 ~ 5800	WLAN 802.11 a/n	パルス変調 217 Hz	0.2	0.3	9
5500						
5785						